

宮大臣官房
總務課第二八二號

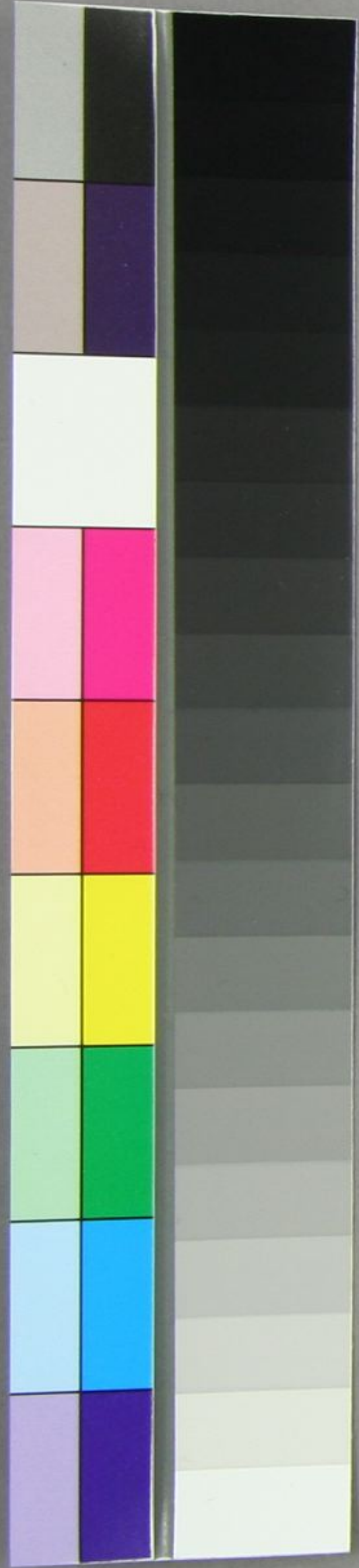
大正十年十月四日

宮内次官關屋貞三郎

候爵 大隈重信殿

通牒

天皇陛下御容體本日別紙之通發表
可相成候間御承知相成度



陛下御容體ハ本年四月發表ノ當時ニアリテ
ハ御榮養其他御身體ノ御模様御宜敷方
ニ在ラセラルシカ其後引續キ御静養中ニシ
テ御體量御寢食等ハ依然御變ヘリナラハ
御後ノ御運動ハ日々遊ハサルモ廿六時間減
少シ通常御歩行ノ場合ニモ側近者ノ扶
助ヲ要セラルルコトアリ且御態度ノ弛緩及
御發語ノ故障モ近頃其度ヲ有サセラル又
動モスルハ御倦怠起リ易ク御注意カ御記
憶力モ減退シ要スルニ一服ノ御容體ハ時ニ
消長ヲ免レサルモ概シテ快方ニ向ハセラレサル
様拜察シ奉ル
陛下御幼少ノ時腦膜炎様ノ疾患ニ罹

時期ヨリ御成年後
ヲ御經過遊ハサレシ爲
シ御健康ヲ害セフレ
爾來御健康ヲ保ツタ
ル頃ヨリ御政務ヲ端
ト相ノ外御終念遊サ
ル事ノ多キニ阪
ノ御身體過勞
爲メ御精力幾分衰
前記ノ御容體ヲ拜
ルニ至
近時ニ於テ
洵ニ恐懼ニ堪
ハサルトコロナリ

侯爵大隈重信殿



宮内次官關屋貞三郎

宮内省

特別
114
D342
1~2

戸部

